

平成23年3月期 決算説明会

平成23年5月16日



株式会社 **DTS**

<http://www.dts.co.jp/>

目次

1. 平成23年3月期 実績
2. 主要施策の状況
3. 平成24年3月期 見通し

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益などの予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としておりますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益などは、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

1. 平成23年3月期 実績

業績実績(単体)

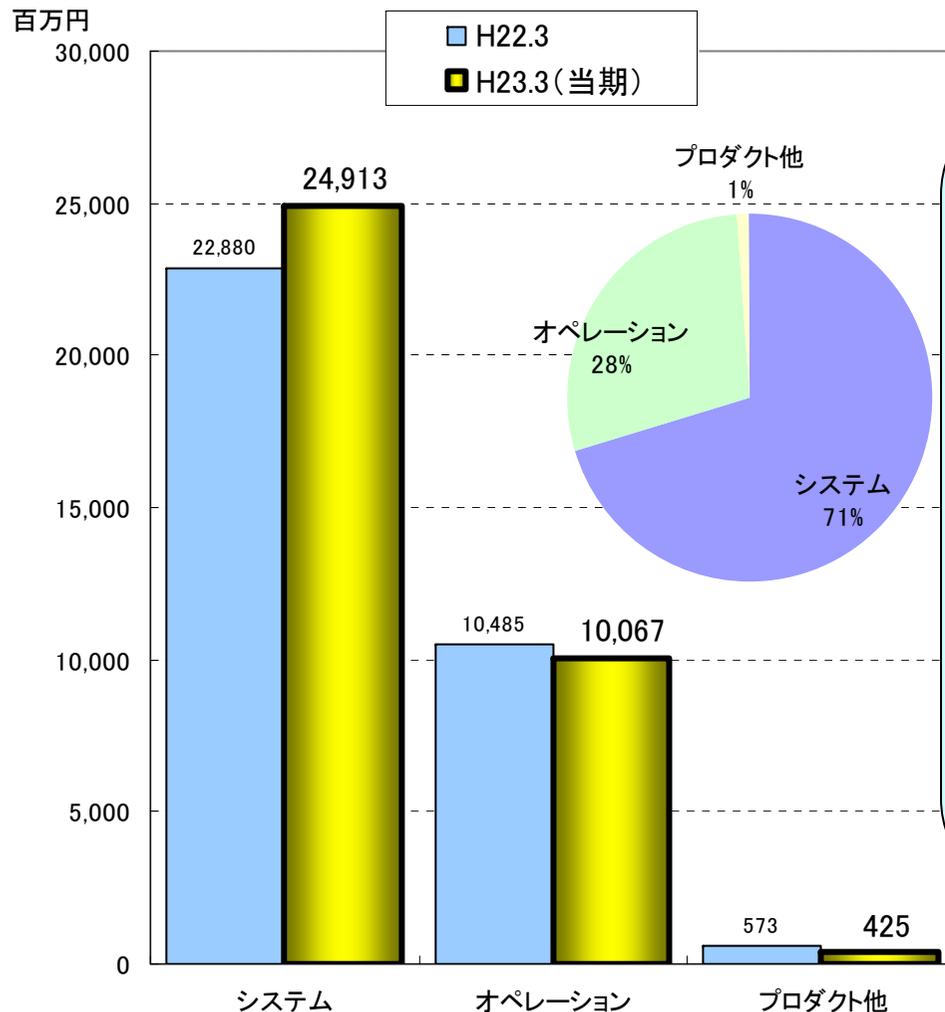
大幅な増収増益を達成

(単位：百万円、%)

	金額	売上比	前年同期比		当初計画比	
売上高	35,406	—	104.3%	+1,466	98.4%	-593
売上総利益	4,704	13.3%	118.5%	+734	85.5%	-795
営業利益	1,677	4.7%	180.5%	+748	72.9%	-622
経常利益	1,861	5.3%	157.2%	+677	76.0%	-588
当期純利益	921	2.6%	134.8%	+237	65.8%	-478

売上高・品目別(単体)

金融向けなどのシステム開発案件が牽引

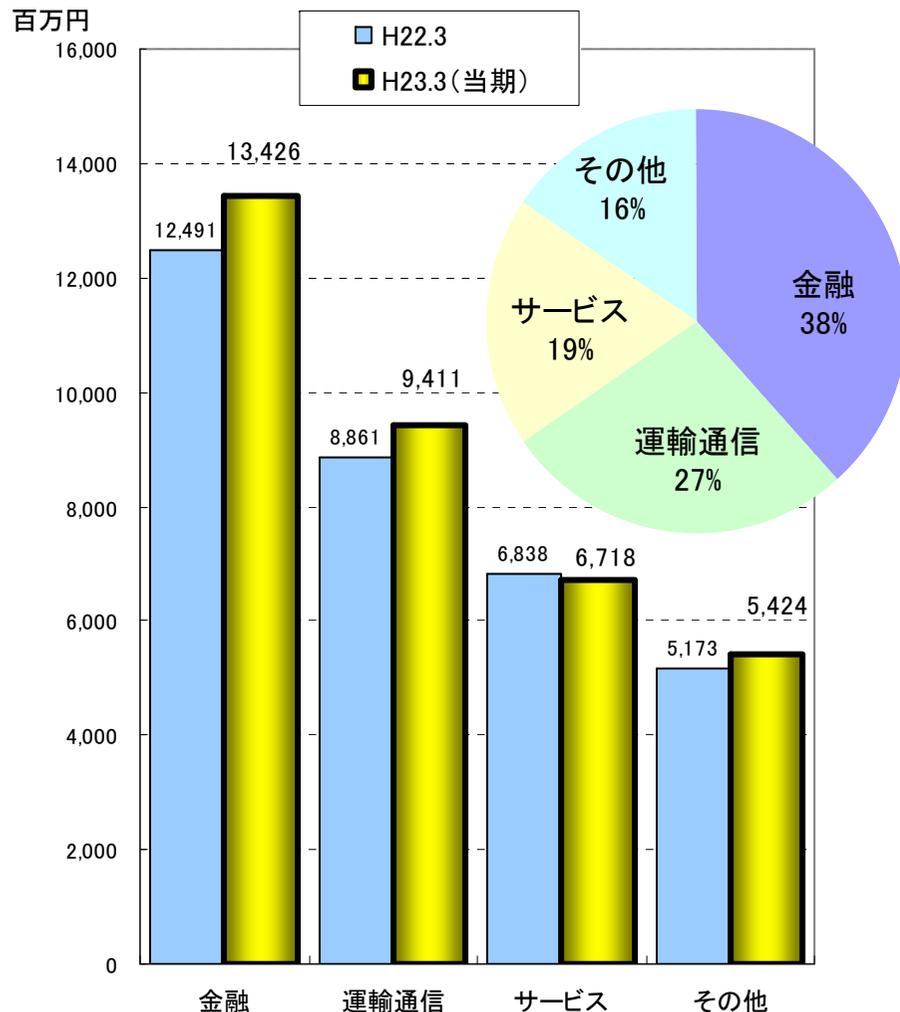


システム (前年同期比 108.9%)
 ・金融大型案件の受注に加え、
 運輸通信向けの開発案件が伸長
 し、前年同期比大幅増。

オペレーション(前年同期比 96.0%)
 ・顧客内製化など、保守運用コス
 トの削減の影響は一巡し、下げ止
 まり。

売上高・エンドユーザ業種別 (単体:システム+オペレーション)

金融業が大幅に増加、運輸通信も好調



金融業 (前年同期比 107.5%)

- ・金融大型案件が大きく伸張
- ・電子記録債権案件も順調に拡大

運輸通信業(前年同期比 106.2%)

- ・営業フロント系案件は堅調
- ・一部キャリア向け案件が減少

サービス業 (前年同期比 98.2%)

- ・需要回復にはいならず微減

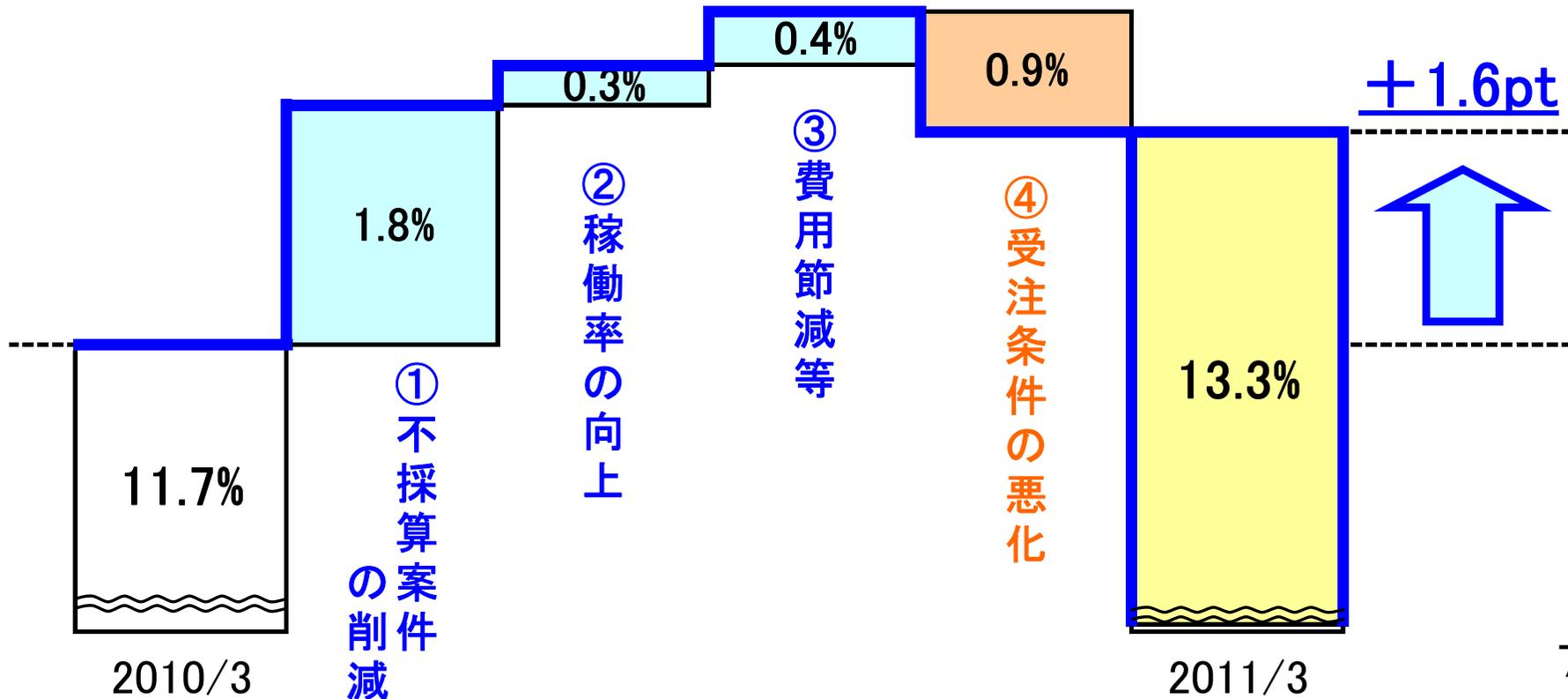
その他 (前年同期比 104.8%)

- ・製造向け好調、公共向け微減

売上総利益 (単体)

①不採算案件の削減、②稼働率の向上、③費用節減などにより、売上総利益率改善

売上総利益 4,704百万円 (前年同期比118.5%、売上比13.3% (前年同期比+1.6pt))



営業利益、経常利益 (単体)

営業、管理体制を強化。経費削減により販管費減

販管費 3,026百万円 (前年同期比99.5%、当初計画比94.6%)
 売上比8.5% (前年同期比-0.4pt)

営業部門、管理部門の体制強化による増加	+ 93百万円
費用の削減・抑制等による減少	- 107百万円

営業利益 1,677百万円 (前年同期比180.5%、売上比4.7% (前年同期比+2.0pt))

経常利益 1,861百万円 (前年同期比157.2%、売上比5.3% (前年同期比+1.8pt))

業績実績(連結)

単体の増収増益およびDTC売上寄与

(単位：百万円)	金額	売上比	前年同期比		当初計画比	
売上高	58,503	-	111.4%	+6,000	96.7%	-1,996
売上総利益	8,022	13.7%	119.1%	+1,287	84.4%	-1,477
営業利益	2,296	3.9%	196.2%	+1,125	69.6%	-1,003
経常利益	2,488	4.3%	182.3%	+1,123	73.2%	-911
当期純利益	1,124	1.9%	404.2%	+846	51.1%	-1,075

販管費 5,726百万円(前年同期比102.9%、売上比9.8%(前年同期比-0.8%))

業績実績(グループ各社)

金融特化のFAITECは高利益率達成。物販、地方は苦戦

(単位：百万円、%)

社名	売上高			営業利益			
	金額	前年同期比	当初計画比	金額	売上比	前年同期比	当初計画比
データリンクス	8,149	93.1%	101.9%	234	2.9%	72.5%	116.2%
デジタルテクノロジー	6,275	-	92.2%	21	0.3%	-	16.1%
FAITEC	4,912	105.9%	100.3%	488	9.9%	124.9%	102.5%
日本SE	4,605	91.0%	99.6%	338	7.4%	[+582]	105.2%
総合システムサービス	995	96.2%	82.9%	-132	-13.3%	[-123]	[-137]
九州DTS	986	96.1%	89.7%	17	1.8%	48.8%	41.5%
MIRUCA	388	97.3%	93.5%	10	2.8%	35.5%	111.2%
アスタリクス	146	148.7%	97.3%	7	5.3%	[+29]	256.7%

各社単体の数値であり、すべてを合計しても連結の数値とは一致しません。
 []は、当期金額－前期金額

2. 主要施策の状況

中期総合計画 (平成22年4月～平成25年3月)

中期経営ビジョン『バリュー・ソリューション・プロバイダー』

- 顧客・当社双方がメリットを享受できる関係の構築
- 付加価値の高いサービスの効率的な提供
- 企画・提案型事業の強化



主要施策① 『注力事業』

前期

組込系、ITインフラともに好調

組込系

- ・関西圏好調(前年同期比128.2%)
- ・スマートフォン、デジタル家電等のAndroid系が牽引

ITインフラ

- ・クラウド関連需要旺盛(プロバイダ、DC事業者)
- ・基盤構築＋サーバー調達(DTCシナジー)

当期

- ・組込系: 関東圏強化、アライアンス推進
- ・ITインフラ: DTCとのシナジー拡大、クラウド関連ビジネス注力

主要施策② 『新規事業』

前期

クラウド化、アライアンスにより推進

企画型
ソリューション
の育成

- ・ハウジングソリューション
【WIHプラザ、住宅履歴管理システム】
⇒クラウド型ワンストップサービスの展開
- ・システム遠隔監視サービス【ReSM】
⇒サービスプロバイダとの連携強化
- ・BIツール【データスタジオ@WEB】
⇒メーカーやソフトハウスとの連携強化
- ・PCセキュリティ【EAGISCORP】
⇒クラウド化、PKGベンダーとの協業

当
期

- ・アライアンスの積極化は更に推進
- ・新たな企画型事業の創出を推進

主要施策③『グローバル展開』

前期

オフショア、日本企業のグローバル展開
支援へ体制整備

オフショア
開発

- ・上海現法における現地採用開始
- ・中国+1(ベトナム)

日本企業の
グローバル
展開支援

- ・アジア、米国では顧客企業の海外進出をサポート

当期

- ・日本企業のグローバル展開支援の拡大
- ・グローバル人材の育成に注力

主要施策④ 『営業力強化』

前期 「問題解決型」営業へ取組み強化

顧客の
裾野拡大

- ・新規顧客の開拓
⇒取引先:341社 前年同期比+26社
⇒新規顧客から大型案件の獲得

製販一体組織
組織営業

- ・営業部門－企画部門－開発部門を、各事業本部に集中
- ・組織的な営業体制の構築
⇒SFA導入

当期

- ・SFAの活用による営業の可視化の推進
- ・営業プロセスの標準策定

主要施策⑤ 『SI力強化』

前期 プロジェクトマネジメント強化を推進

コスト コントロール強化

- ・不採算(赤字)案件は大きく減少
- ・3Qに低採算案件発生

プロセス標準化

- ・開発標準:『CMMILレベル4』達成
- ・運用標準:サービスレベル管理プロセスの浸透による品質向上

当期

- ・目標の明確化(KPI導入)
- ・重点プロジェクトの管理強化(品質管理チーム立ち上げ)

主要施策⑥ 『グループ総合力強化』

前期

各社の強みを生かしたシナジー発現や
ノウハウの蓄積を推進

共同受注
クロスセリング

(例)

- ・共済システム構築
…DTS+DL+FAITEC+DTS上海
- ・クラウド基盤の提供
…DTS+DTC(ハード、基盤構築)
- ・大学向け基盤構築
…SGS(地場顧客)+DTC(ハード、基盤構築)

グループ内製化
の推進

- ・グループ内へのノウハウの蓄積
- ・外注コストの圧縮

当期

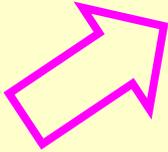
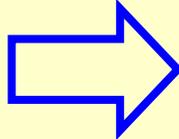
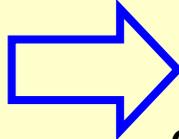
- ・共同受注等の拡大
- ・ITインフラ系や運用系でシナジー発現

3. 平成24年3月期 通期見通し

事業環境の見通し

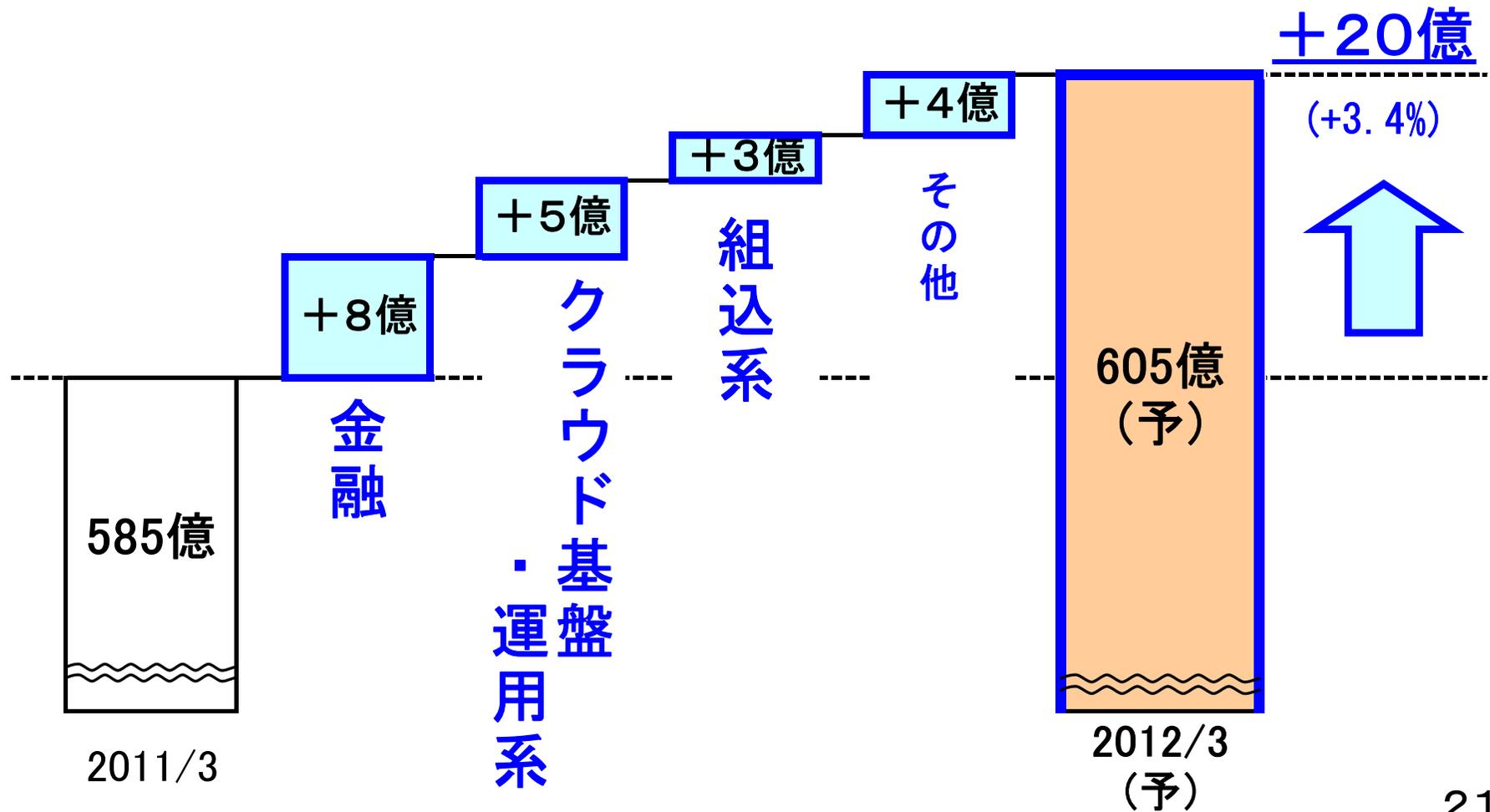
<震災の影響>

- ・従業員や設備等に直接的被害は無し
- ・短期的には一部IT投資抑制を想定⇒中期的には回復基調

業種	トピックス	市場動向
金融	<ul style="list-style-type: none"> ・金融大型案件は順調に工程消化。 ・統合(信託、生保)、制度変更、海外系など引合い増。震災影響は限定的。 	
運輸通信	<ul style="list-style-type: none"> ・固定系の投資は底這い基調。 ・移動系はスマートフォン関連引合い増。 ・クラウド基盤、運用系は需要旺盛。 	
サービス その他	<ul style="list-style-type: none"> ・下期以降回復を見込む。 ・組込好調。 	

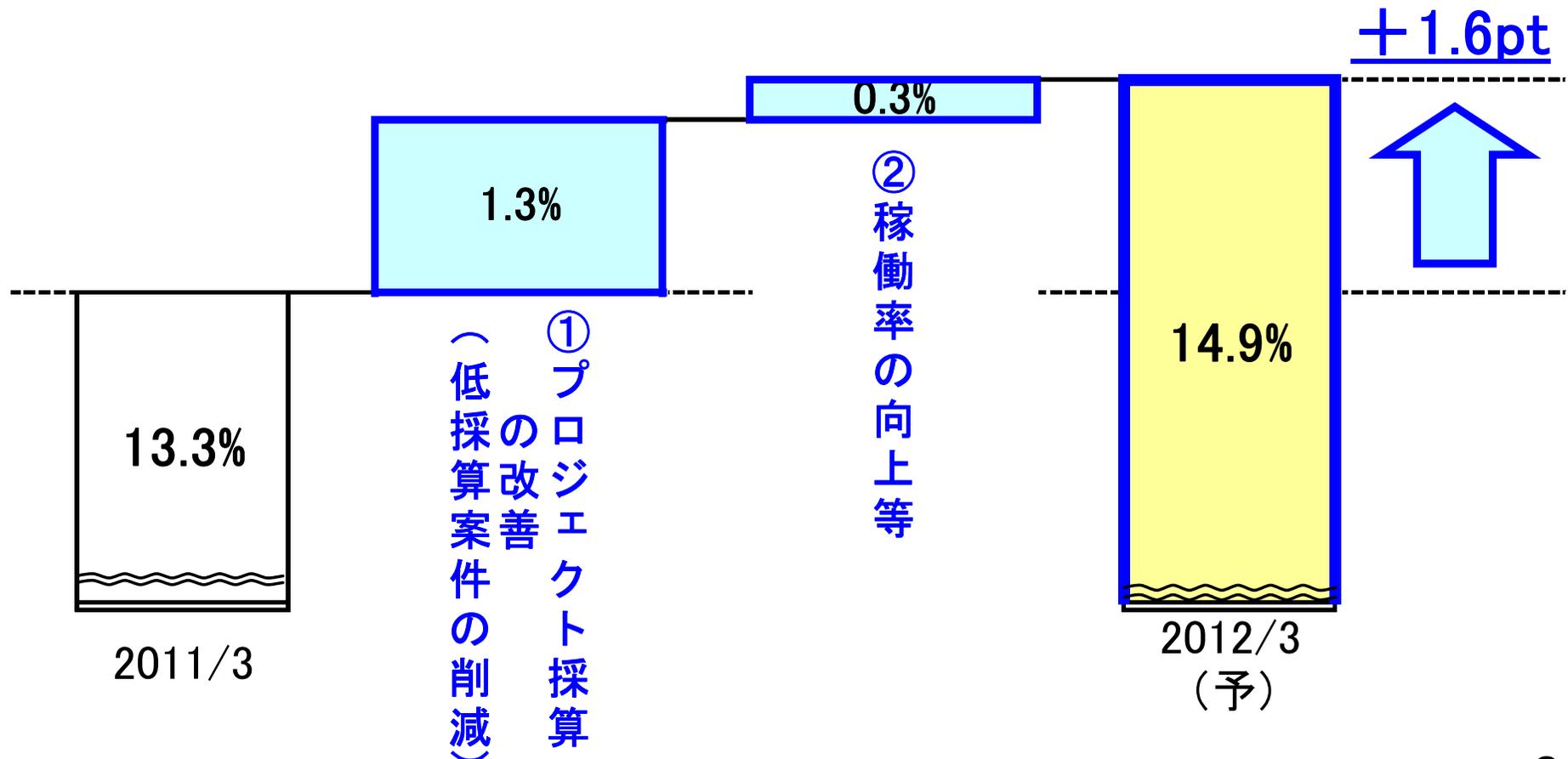
売上高の見通し(連結)

金融、クラウド基盤・運用、組込等で増収を見込む



売上総利益率の改善見通し(単)

①プロジェクト採算の改善、②稼働率の向上等により、売上総利益率を改善



上期計画(単体・連結)

上期は減収見込み。プロジェクト採算改善等により利益率確保

(単位：百万円、%)

	単体				連結			
	金額	売上 比率	前年 同期比		金額	売上 比率	前年 同期比	
売上高	17,100	-	97.1%	-514	28,900	-	99.1%	-251
売上総利益	2,350	13.7%	102.1%	+48	4,000	13.8%	102.9%	+111
営業利益	750	4.4%	100.0%	0	1,000	3.5%	107.1%	+66
経常利益	850	5.0%	95.8%	-37	1,050	3.6%	96.6%	-37
当期純利益	500	2.9%	97.5%	-12	500	1.7%	110.3%	+46

販管費(連) 3,000百万円(前年同期比101.5%、売上比10.4%(前年同期比+0.3%))

通期計画(単体・連結)

金融等の需要増、利益率改善により増収増益を見込む

(単位：百万円、%)

	単体				連結			
	金額	売上比率	前年同期比		金額	売上比率	前年同期比	
売上高	36,200	-	102.2%	+793	60,500	-	103.4%	+1,996
売上総利益	5,400	14.9%	114.8%	+695	9,100	15.0%	113.4%	+1,077
営業利益	2,200	6.1%	131.1%	+522	3,050	5.0%	132.8%	+753
経常利益	2,350	6.5%	126.3%	+488	3,100	5.1%	124.6%	+611
当期純利益	1,350	3.7%	146.5%	+428	1,600	2.6%	142.3%	+475

販管費(連) 6,050百万円(前年同期比105.7%、売上比10.0%(前年同期比+0.2%))

参考)通期計画(グループ各社)

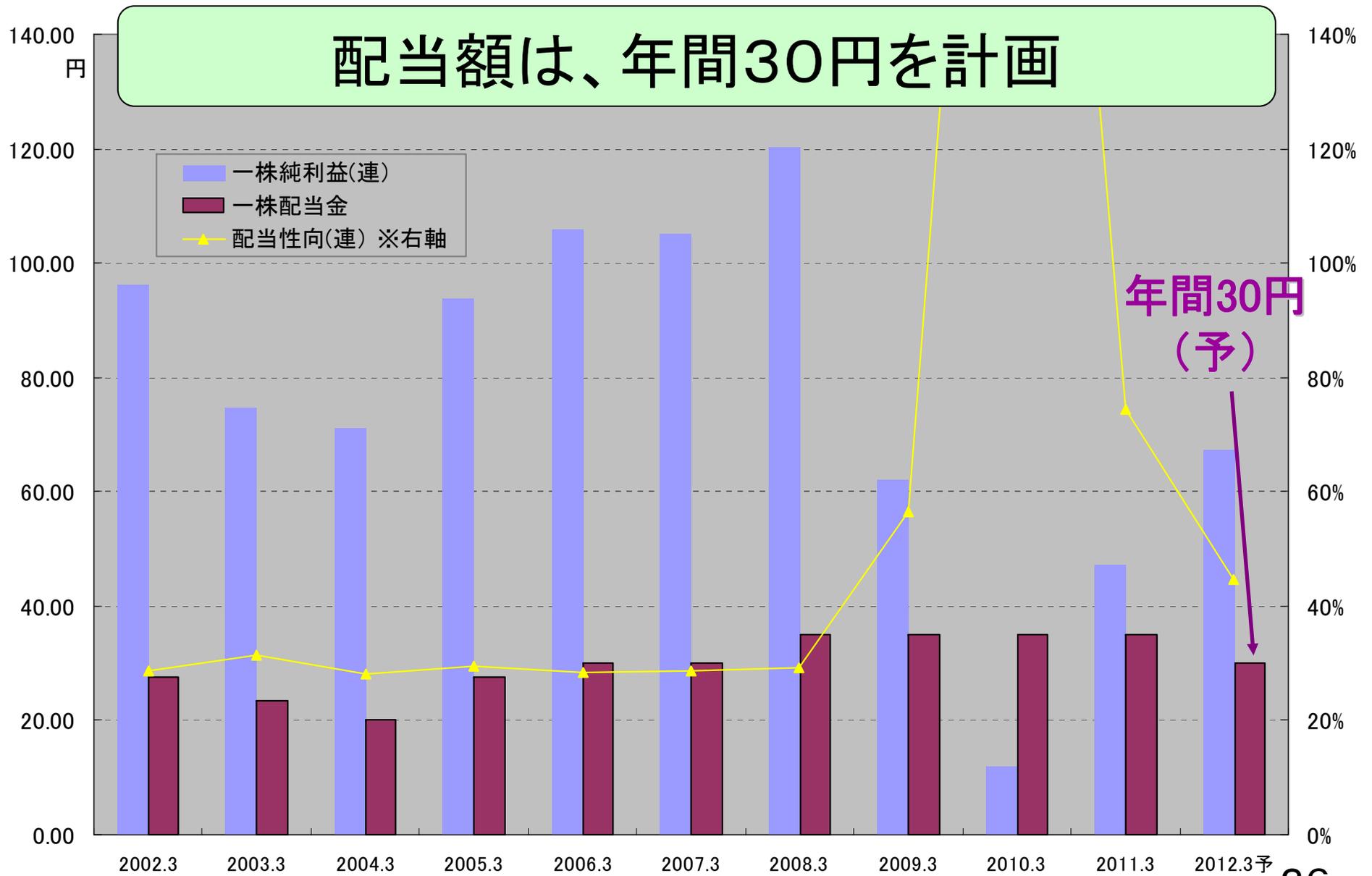
(単位：百万円、%)

社名	売上高		営業利益		
	金額	前年同期比	金額	売上比	前年同期比
データリンクス	8,160	100.1%	250	3.1%	106.9%
デジタルテクノロジー	6,679	106.4%	164	2.5%	764.0%
FAITEC	5,400	109.9%	503	9.3%	103.1%
日本SE	4,415	95.9%	321	7.3%	94.8%
総合システムサービス	1,116	112.3%	10	0.9%	[+142]
九州DTS	1,110	112.5%	43	3.9%	241.3%
MIRUCA	405	104.2%	5	1.2%	45.8%

各社単体の数値であり、すべてを合計しても連結の数値とは一致しません。

[]は、当期金額－前期金額

配当計画



* 2007.10に株式分割(1:2)実施、過去分は分割遡及後の配当額。

平成23年3月期 決算説明会

ご清聴ありがとうございました



株式会社 **DTS**

<http://www.dts.co.jp/>